

知名町特産品フェア開催！

2月24日、25日の2日間、「ちな町を愛するすべての人々へ南国の春をひとあし早くお届けします」をキャッチフレーズに、鹿児島県市町村自治会館において毎年恒例の「知名町特産品フェア」を開催しました。

事前にロビーに飾っていたカサブランカやグラジオラス、えらぶゆりが満開に咲きほこり会場を彩る中、今の時期ならではのえらぶゆりや新ばれいしよをはじめ、パイヤなどの漬け物類や田芋、島かまぼこ、生



きくらげ、きび酢、黒糖焼酎、ソデイカ、えらぶ蜜、シマ桑茶やシマ桑葉入の菓子類など、20事業者から90品目あまりの商品を展示販売しました。ソデイカやばれいしよの詰め放題、花の販売ブースには人だかりができて大盛況でした。

会場では、PRの一環として観光ブースを設置し、シマ桑茶の試飲や観光パネルの展示、動画の上映などで知名町を紹介しました。

また、おぎのえらぶ島観光大使と昨年誕生した知名町公式キャラクター「ちなボー」が南日本放送の朝の情報番組「ズバかご」に生出演し観光PRを行ったほか、フェアの会場に取材に訪れた地元の新聞社やNH

Kなどでも知名町の魅力を発信していただきました。

このフェアの前には、鹿児島空港で「えらぶゆりの島空港」の愛称決定の周知イベントとして、空港に訪れた方にえらぶゆり500本のプレゼントを行いました。またフェアの翌日には鹿児島市の天文館にある「かご市」で、知名町商工会による特産品の展示販売があるなど、知名町のPR満載の1週間でした。

今後もこのようなフェアを通じ、多くの方に知名町を知っていただくとともに、知名町に行ってみたくて興味を湧くようなイベントを行っていきたくと思います。



所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『奄美の歌掛け集成』

三上 絢子／著 南方新社  
奄美地方に古から伝わる、貴重な文化遺産である「奄美の歌掛け」の集大成。長年にわたる関係者への調査と文献渉猟によって、その実態に光をあて、「歌掛け」が奄美諸島にもたらした文化的意義について論考する。



『奄美群島の自然史学』

水田 拓／編著 東海大学出版部  
世界に誇るべき生物多様性を有する亜熱帯島嶼域、奄美群島。琉球列島の動物の起源、奄美群島固有のクワガタムシ類の自然史、トゲネズミ類の生息状況…。辺境の地、奄美から自然史研究の成果を紹介する。



問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

